



# いずみさの昔と今 第258回

## 「泉佐野の鉄道〜南海本線について〜」

本市を走る鉄道は浜側に南海本線、山手にJR阪和線が並走しており、このうち南海本線は難波から佐野(現 泉佐野駅)までが明治30(1897)年10月1日、和歌山市駅までは明治36(1903)年に開通しました。昭和40(1965)年10月には南海電鉄唯一の地下駅舎として落成し、平成14(2002)年5月には上りホームを高架化、平成17(2005)年11月に下りホームを高架化し、現在の泉佐野駅となりました。一日



北1番踏切から  
プラットホームを望む

の平均乗降客数は2万人を超えており、泉佐野市民に親しまれています。今日に至る道のりは容易ではありませんでした。明治17(1884)年、南海電鉄の前身となる阪堺鉄道(現 阪堺電車は別会社)が大阪と堺間の鉄道敷設を目標として設立、明治18(1885)年に創業しました。

阪堺鉄道は、名前に「堺」を含みながらも堺市街に駅を設置できず、当初は難波駅と大和川北岸に設置された大和川駅までの営業でした。大和川への橋脚工事に時間を要し、途中洪水で工事中断を余儀なくされるなど、堺市街を望みながらも大和川を越えることができなかったのです。明治20(1887)年5月に起工、同年10月には洪水で中断、明治21(1888)年3月竣工にこぎつけ、同年5月15日、ついに吾妻橋駅(現 南海堺駅)が完成、念願の難波と堺を繋ぐ鉄道が開通しました。

その後、阪堺鉄道は、堺以南と和歌山を結ぶ紀泉鉄道敷設(後に南海鉄道と改名)を計画します。明治30年、堺と佐野間が開通し、同年12月、阪堺・南海鉄道直通運転が開始され、佐野

駅は開業後の1カ月間は終着駅として利用されました。明治31(1898)年、阪堺鉄道は南海鉄道に事業譲渡し、統合されました。以後ライバル私鉄との競争、戦時統制化での国有化など様々な事態に見舞われます。昭和19(1944)年6月、関西急行鉄道と合併し近畿日本鉄道の鉄道省による買収など紆余曲折を経て、終戦後、南海電気鉄道へ社名を変更、現在に至ります。本市域に存在する南海電鉄の駅のうち、羽倉崎は戦時中の昭和17(1942)年に陸軍飛行場関係者・物資運搬のために開設、井原里は付近に鉄鋼業工場が数多くあったことから戦後の昭和27(1952)年に開設されました(鶴原・泉佐野は阪堺時代開業)。大阪への行程を短時間にし、人・物の往来を盛んにさせ、本市の産業、商業、物流、人々の暮らしに多大な影響を与えた阪堺鉄道は、南海電鉄へと姿を変え、人々の暮らしを支え続けています。

レイクアルスタープラザ・  
カワサキ歴史館いずみさの  
☎469-7140 Fax469-7141  
休館日 月曜日、祝日(祝日が月曜日の場合はその翌日、日曜日の場合はその翌々日)  
開館時間  
午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
入館料 無料

### 春季特別展講演会 第3回 古代の泉佐野

日時 7月5日(水) 午後1時30分～3時  
(受付:午後1時～)  
定員 60人(先着順)  
講師 貝川克士  
(教育総務課)

場所・申込・問合先  
直接または電話でレイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのへ  
※受講無料



▲長滝古墳群

#### 歴史館いずみさのFacebookで情報発信中!

特別展講演会のほかにも、考古学講座やワークショップなどのイベントも企画しています。「歴史館いずみさのFacebook」で、最新情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/rekishikan.izumisano/>

### 土曜れきし館ワークショップ 星に願いを☆ 折り紙で七夕飾りを作ろう!

7月7日は七夕です。折り紙で七夕飾りを作って、館内の笹に吊るしてみよう!

日時 6月24日(土)  
午後2時～3時30分  
(最終受付)

場所・問合先 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの  
※参加無料。  
未就学児は保護者同伴で



「土曜れきし館ワークショップ」は、毎月第4土曜日に開催しています。みんなで挑戦し、学習できる楽しい体験を企画しています。今後の予定はfacebookをご覧ください。

<http://www.facebook.com/rekishikan.izumisano/>